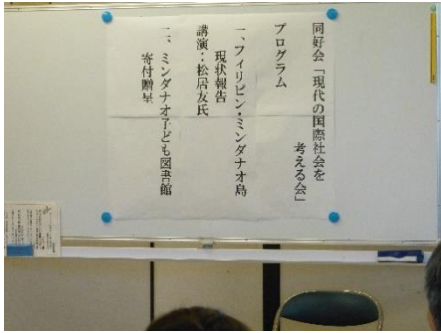


## ミンダナオ島の子どもたちから学ぶ生きる力

2019年6月22日、にぎわい交流館にて、日進市国際交流協会（NIA）の同好会「現代の国際社会を考える会」の主催で、「フィリピン・ミンダナオ島で生活する子どもたちの現状」と題して講演会が開催されました。「ミンダナオ子ども図書館」を設立・運営しているMLC主宰の松居友氏を講師に迎え、映像を交えながら、島に暮らす子どもたちの様子が詳しく紹介されました。



21年前、絵本の力で子どもたちの笑顔を取り戻したいと読み聞かせから始めた活動が、戦争孤児や崩壊した家庭の子を預かって一緒に暮らし大学進学もできる奨学生支援を行うまでに広がっています。度重なる戦禍に巻き込まれる状況にありながら、宗教や人種の壁を越えて一つになって明るく暮らすミンダナオ島の子どもたち。その生きる力に、参加者は一様に感銘を受けました。



松居氏の次女で、現在、日本の公立中学校に通うアンジェラ舞花さんに、「日本とミンダナオ島で大きく違うと思うところは？」と尋ねると、「島では洗濯をするとき、いつも友だちとおしゃべりしたり歌を歌ったりしながら手でごしごし洗っていた。日本では洗濯機のスイッチをピッと押せば終わりだから便利だけど寂しい。」という答えが返ってきました。

会の終わりに、NIAから「ミンダナオ子ども図書館」に寄付金が贈呈されました。

